

2018年2月5日

青森県との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、青森県が掲げる「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」における取組みに貢献するため、青森県（知事：三村 申吾）と『包括連携協定』を2月5日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・青森県は、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」として、「強みをとことん、魅力あふれるしごとづくり」、「人財きらめく、住んでよしの青森県」、「地域でかなえる、子ども・未来の希望」、「課題をチャンスに、めざせ健康長寿県」を推進し、世界が認める「青森ブランド」の確立を目指しています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、青森県内トップシェアの損害保険会社として、地域と産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、青森県の県民サービスの向上と地域の一層の活性化に貢献するため、青森県に包括的な連携について提案し、このたび協定に至りました。

2. 協定の目的

青森県と損保ジャパン日本興亜は、互いに密接に連携・協力し、双方の資源を有効に活用した協働を推進することにより、人口減少の克服に向け青森県の県民サービスの向上及び地域の一層の活性化を図ることを目的とします。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる、以下の10分野において業務連携を行います。

- (1) 健康増進に関すること
- (2) 観光の振興に関すること
- (3) 地域経済の活性化に関すること
- (4) 移住・定住・空き家活用の支援に関すること
- (5) 地域の防災に関すること
- (6) 地域の安全・安心に関すること
- (7) 結婚・子育て、男女共同参画社会の推進に関すること
- (8) 環境保全に関すること
- (9) 縄文ムーブメントの推進に関すること
- (10) その他県民サービスの向上・地域社会の活性化に関すること

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上